

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名 日本ガイシ株式会社

上場取引所 東大名札

コード番号 5333 URL <http://www.ngk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松下 雋

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部財務部長 (氏名) 坂部 進

TEL 052-872-7230

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	160,406	△25.8	13,444	△61.9	12,458	△62.7	8,476	△53.0
21年3月期第3四半期	216,192	—	35,286	—	33,425	—	18,026	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	25.94	25.91
21年3月期第3四半期	54.00	53.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	459,794	306,584	63.0	886.45
21年3月期	444,202	301,424	63.8	867.15

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 289,529百万円 21年3月期 283,344百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
22年3月期	—	8.00	—		
22年3月期 (予想)				8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	232,000	△15.1	22,000	△32.9	23,000	△27.0	17,000	△30.5	52.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 337,560,196株 21年3月期 337,560,196株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 10,942,023株 21年3月期 10,808,134株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 326,719,514株 21年3月期第3四半期 333,797,464株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年10月29日に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報及び平成22年1月29日付の適時開示「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、景気刺激策の効果や在庫調整一巡による生産活動の回復などが見られたものの、設備投資や雇用・所得環境は引続き厳しく、今後については予断を許さない状況が続く見通しです。

当社グループにおきましても、景気低迷の影響により、セラミックス事業で自動車排ガス浄化用触媒担体やSiC製ディーゼル・パティキュレート・フィルター（DPF）等の自動車関連製品の需要が大幅に減少したほか、エレクトロニクス事業においても半導体製造装置用セラミックスやベリリウム銅展伸材等の需要が大きく減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、上記の影響に加えて為替円高の影響もあり、前年同期比25.8%減の1,604億6百万円となりました。利益面でも、売上高の大幅減少に加え為替円高の影響により営業利益は前年同期比61.9%減の134億44百万円、経常利益は同62.7%減の124億58百万円、四半期純利益は同53.0%減の84億76百万円となりました。

事業の種類別には、電力関連事業では売上高は前年同期比5.7%増の579億72百万円、営業利益は同34.5%増の57億28百万円、セラミックス事業では売上高は同36.8%減の700億29百万円、営業利益は同69.3%減の74億84百万円、エレクトロニクス事業では売上高は同35.7%減の325億32百万円、営業利益は同96.7%減の2億17百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産合計は4,597億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ155億91百万円増加いたしました。これは主として有価証券が増加したことなどによるものであります。

負債合計は1,532億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ104億31百万円増加いたしました。これは借入金の返済により1年内返済予定の長期借入金が増加したものの、資金調達のため普通社債や長期借入金が増加したことなどによるものであります。

また純資産合計は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ51億60百万円増加し3,065億84百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

景気低迷のもとでも、前回の業績予想時点との比較では、中国を始めとした各国の自動車販売台数の増加や在庫循環を反映し、自動車排ガス浄化用触媒担体やディーゼル・パティキュレート・フィルター（DPF）の物量が増加しております。これに伴い、当該製品に係る海外グループ会社の業績が向上するほか、諸資材価格の低下や費用削減効果も加わること等により、平成21年10月29日に公表した通期の連結業績予想数値を、売上高は70億円増の2,320億円、営業利益は50億円増の220億円、経常利益は50億円増の230億円、当期純利益は45億円増の170億円にそれぞれ修正いたします。なお、前提となる期中平均為替レートは、1米ドル94円、1ユーロ130円としております。（平成22年1月以降の為替レート前提：1米ドル85円、1ユーロ125円）

平成22年3月期の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A) (平成21年10月29日発表)	225,000	17,000	18,000	12,500	38.26
今回修正発表予想(B)	232,000	22,000	23,000	17,000	52.04
増減額(B-A)	7,000	5,000	5,000	4,500	—
増減率	3.1%	29.4%	27.8%	36.0%	—
(参考)前期実績	273,211	32,809	31,488	24,467	73.66

(参考)平成22年3月期の個別業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A) (平成21年10月29日発表)	160,000	8,000	11,000	7,000	21.42
今回修正発表予想(B)	164,000	10,000	13,000	8,000	24.49
増減額(B-A)	4,000	2,000	2,000	1,000	—
増減率	2.5%	25.0%	18.2%	14.3%	—
(参考)前期実績	175,396	13,277	15,048	4,030	12.13

今後、上記連結及び個別業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示する予定です。なお、業績予想は現時点で当社が入手可能な情報に基づいており、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、主として加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工期1年超の工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を採用していましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,184	49,751
受取手形及び売掛金	47,673	46,116
有価証券	57,441	32,335
たな卸資産	70,558	78,575
その他	14,815	18,020
貸倒引当金	△128	△188
流動資産合計	240,545	224,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	47,202	46,471
機械装置及び運搬具（純額）	51,246	55,092
その他（純額）	40,580	36,012
有形固定資産合計	139,029	137,575
無形固定資産	1,943	1,840
投資その他の資産		
投資有価証券	47,953	47,032
その他	30,634	33,428
貸倒引当金	△312	△284
投資その他の資産合計	78,274	80,176
固定資産合計	219,248	219,592
資産合計	459,794	444,202
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,239	26,708
短期借入金	4,564	4,744
1年内返済予定の長期借入金	14,000	29,391
未払法人税等	1,176	589
引当金	3,890	1,866
その他	21,439	21,854
流動負債合計	59,310	85,155
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	44,000	28,000
退職給付引当金	17,141	17,677
その他の引当金	326	391
その他	12,430	11,554
固定負債合計	93,898	57,623
負債合計	153,209	142,778

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	69,849	69,849
資本剰余金	85,138	85,135
利益剰余金	170,629	168,360
自己株式	△14,252	△13,986
株主資本合計	311,364	309,358
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,912	2,507
繰延ヘッジ損益	115	△108
為替換算調整勘定	△26,862	△28,413
評価・換算差額等合計	△21,835	△26,014
新株予約権	643	519
少数株主持分	16,412	17,560
純資産合計	306,584	301,424
負債純資産合計	459,794	444,202

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	216,192	160,406
売上原価	144,797	114,781
売上総利益	71,394	45,625
販売費及び一般管理費	36,108	32,180
営業利益	35,286	13,444
営業外収益		
受取利息	2,394	839
受取配当金	675	708
デリバティブ評価益	2,520	—
その他	930	1,290
営業外収益合計	6,521	2,838
営業外費用		
支払利息	1,839	1,006
為替差損	4,381	—
持分法による投資損失	—	971
その他	2,161	1,845
営業外費用合計	8,382	3,824
経常利益	33,425	12,458
特別利益		
固定資産売却益	35	87
事業再構築引当金取崩益	338	—
特別利益合計	374	87
特別損失		
固定資産処分損	1,167	329
減損損失	915	—
事業整理損	5,064	—
関係会社整理損失引当金繰入額	—	957
その他	251	—
特別損失合計	7,399	1,287
税金等調整前四半期純利益	26,400	11,258
法人税、住民税及び事業税	6,866	2,544
法人税等調整額	2,102	989
法人税等合計	8,969	3,534
少数株主損失(△)	△595	△751
四半期純利益	18,026	8,476

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	電力関連 事業 (百万円)	セラミックス 事業 (百万円)	エレクトロ ニクス事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	54,795	110,786	50,610	216,192	—	216,192
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	28	10	—	39	(39)	—
計	54,824	110,797	50,610	216,232	(39)	216,192
営業利益	4,259	24,377	6,629	35,266	19	35,286

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	電力関連 事業 (百万円)	セラミックス 事業 (百万円)	エレクトロ ニクス事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	57,931	69,942	32,532	160,406	—	160,406
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	41	86	—	128	(128)	—
計	57,972	70,029	32,532	160,534	(128)	160,406
営業利益	5,728	7,484	217	13,430	14	13,444

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
電力関連事業	がいし・架線金具、送電・変電・配電用機器、がいし洗浄装置・防災装置、電力貯蔵用NAS電池 (ナトリウム/硫黄電池)
セラミックス事業	自動車用セラミックス製品、化学工業用耐食機器、液・ガス用膜分離装置、燃焼装置・耐火物、 放射性廃棄物処理装置
エレクトロニクス事業	ベリリウム銅圧延製品・加工製品、金型製品、電子工業用・半導体製造装置用セラミックス製品

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。